

2 点検・評価の実施方針

2 点検・評価の実施方針

(1) 実施方針

教育プラン（2019～2022 年度）に掲げる施策体系に基づく点検・評価は、令和元年度の振返りが2回目となる。

また、今年度（令和2年度）は、昨年度に引き続き、平成31年3月に策定された「調布市教育大綱〈第2期〉」に掲げる基本方針と、教育大綱と一体的に示された5つの連携テーマを踏まえ、具体的な教育行政を推進していかなければならない。

こうした状況を踏まえ、以下のとおり実施方針を定める。

ア 調布市教育委員会は、毎年、主要な施策や事業の取組状況について点検・評価を行い、課題や今後の取組の方向性を明らかにするとともに、教育プランにおいて新たに設定した10施策・34事業の進行管理を行うことにより、効果的な教育行政の一層の推進を図る。

イ 点検・評価の結果に関する報告書を作成し、市議会に提出するとともに、公表することにより、市民への説明責任を果たし、市民に信頼される教育行政を推進する。

ウ 教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るため、点検・評価に関する有識者を置き、意見を聴取する機会を設ける。

(2) 点検・評価シートの見直し

点検・評価報告書は、「効果的な教育行政の推進」と「市民への説明責任を果たすこと」を目的として作成している。そのため、PDCAサイクルを意識して、この1年間、「何ができて、何ができなかったのか」、「成果は上がっているのか」、「次への課題・目標は明確化されているか」など、着実な進行管理のもと、教育プランの実効性を高めていくことを目指している。

また、新たな教育プランで定めている「成果指標」等についても振返りが必要となっている。

そのため、令和元年度（平成30年度振返り）の報告書以降、次のとおり点検・評価を行うシートを変更している。

ア 施策のねらい・目標(PPLAN)

- はじめに「施策のねらい (PLAN)」、「背景 (PLAN)、主要事業 (PLAN)」欄を設け、事業の目的や狙いは何か、その理由はどんなものか、具体的に何を設定するのかを記載した。
- 目標はできるだけ明確化・重点化して記載するものとした。

※本欄は、調布市教育プラン(2019~2022年度)から転記しています。

イ 取組実績, 取組成果(DO)

- 事業の目的や目標に則し、主要事業や主な取組について、具体的にどのように取り組み、どのような成果や効果があったのか明確に記載するものとした。
- 「O」には、教育プランに記載されている各施策の「(5) 主な取組」などが記載され、「・」には、その成果等が記載されている。

ウ 点検・評価(CHECK)

- 調布市教育プラン(2019~2022年度)から、上記の「施策のねらい」に対応した「成果指標」を設定し、施策ごとに、施策の成果向上を把握するための指標とその目標値・教育プラン策定時の基準値を示し、実績を記載している。
- 評価結果は、成果指標のみならず、施策に連なる主要事業、主な取組の実績等を総合的に判断し、評価理由とともに記載している。
- 評価段階は、評価をより分かりやすくし、調布市行政評価と整合を図るため、5段階評価を維持しつつ、ランクを「S~D」としている。

エ 今後の方向性(ACTION)

- 課題を踏まえ、どのような取組を計画し、取り組んでいるのか、実施結果の自己評価とあわせて、より具体的に記述するものとした。

(3) 実施方法と実施時期

実施に当たっては、関係法令に基づくとともに、詳細は、「調布市教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価実施要綱」に定め実施している。

主な流れは次のとおり。

ア 令和2年5月~6月

教育委員会事務局において、主要な施策・事業の当該年度の取組成果等の振り返りと課題の抽出を行い、課題を踏まえた現年度の取組状況、さらに次年度の方向性を取りまとめ、報告書案を作成する。

イ 令和2年7月~8月

自己評価に留まらず、有識者として学識経験者の意見を聴取した上で、教育委員会で最終的に協議し、報告書を作成し、市議会へ提出する。また、報告書は市ホームページで公開するとともに、教育会館、公文書資料室、図書館、各社会教育施設に配架し、関

覧できるようにする。

(4) 点検・評価の評価基準について

各事業の評価については主管課による自己評価としている。評価に当たっては下記の評価基準に基づいて、事業の目的（ねらい）・目標に則して効果や成果が十分得られたかどうかを、S・A・B・C・Dの目標達成度で表した。

事業の目的（ねらい）・目標に即した成果や効果が

S：計画以上に目標を達成した。十分に取組成果が得られた。

A：計画通りに目標を達成した。予定した取組効果が得られた。

B：概ね計画どおりに目標を達成した。一定の取組効果が得られた。

C：目標達成にはやや至らなかった。予定した取組効果が得られなかった。

D：目標達成までには至らなかった。期待した取組成果が得られなかった。